

令和 6 年 5 月 8 日

市政記者各位

日本初

地下鉄橋本駅『駅前広場』リニューアル！

～屋外のまちづくりで「認知症の人にもやさしいデザイン」を導入

令和5年8月から再整備工事を進めておりました地下鉄橋本駅駅前広場が完成し、下記のとおり供用を開始いたしますので、お知らせいたします。

なお、今回の整備において、国内で初めて「認知症の人にもやさしいデザイン」をまちづくりに導入いたしました。

つきましては、供用に合わせて現場見学会を開催しますので、ぜひご取材いただきますようお願いいたします。

1. 供用開始について

日時：令和 6 年 5 月 31 日(金) 6 時 00 分 ※供用開始式典は行いません。
場所：地下鉄七隈線橋本駅駅前広場（福岡市西区橋本 2 丁目 26, 37）

▼駅前広場のイメージ



▶ シェルター(屋根)設置

歩行者が雨に濡れることなく、乗り継ぎ可能になりました。

▶ 「認知症の人にもやさしいデザイン」

誰もが安心して利用できるように、国内で初めて屋外のまちづくりに導入しました。

2. 整備ポイント

今回の整備ポイントについて、詳細は別紙をご確認ください。

3. 現場見学会

日時：令和 6 年 5 月 31 日(金) 10 時 00 分～（30 分程度）
（9 時 45 分から受付）※詳細は別紙をご確認ください。



▲PDF 版無料
ダウンロード

整備ポイント

「認知症の人にもやさしいデザイン」の導入について

ユニバーサルデザインをベースとして、「必要な場所には周囲とコントラストをつけてわかりやすく表示」「読みやすくわかりやすいサインを設置」などポイントを整理した、認知症の人だけでなくあらゆる人にとってわかりやすいデザインを用いて整備しています。

Point1 歩行者動線の明確化

歩行者動線の色は、車道の黒色と強いコントラストをつけるため、明るいベージュ色としました。また、駅舎内の床の色と同系色であり、コントラストを統一しました。



Point2 構造物のコントラスト

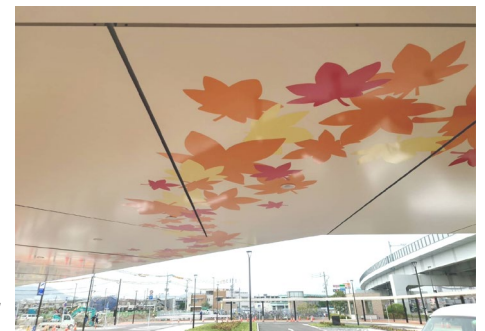
シェルターや案内板の柱の色は、周囲と見分けがつくように、黒色としました。

Point3 シェルター(屋根)

駅舎から各乗降場までシェルターを設置することで、歩行者が雨に濡れることなく、乗り継ぎが可能になります。また、シェルターには、橋本駅のシンボルマーク「もみじ」を装飾し、親しみを感じ落ち着ける雰囲気を作りました。



▲橋本駅シンボルマーク



Point4 ベンチの設置

休憩したい方や乗り継ぎを待っている方などのために、市内産の木材を使用したベンチを6基設置しました。

Point5 案内サイン

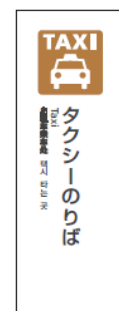
記憶に頼らず、その場にある情報で行動できるよう、判断が必要な場所にわかりやすい案内サインを配置しました。また、サインは文字(4か国語表示)だけでなく、ピクトグラムも併記しています。



▲案内板



▲誘導サイン



▲乗場案内

現場見学会

橋本駅駅前広場の「認知症の人にもやさしいデザイン」について見学会を実施します。ぜひご取材いただきますようお願いいたします。

日時：令和 6 年 5 月 31 日(金)
10 時 00 分～（30 分程度）
（9 時 45 分から受付）

受付：地下鉄七隈線橋本駅駅前広場
2 番出口付近



取材内容

橋本駅駅前広場における「認知症の人にもやさしいデザイン」導入事例の紹介



【お問い合わせ先】

- ▼橋本駅駅前広場に関すること
道路下水道局 西部道路課 古賀 TEL 092-733-5509(内 3140)
- ▼認知症の人にもやさしいデザインに関すること
福祉局 認知症支援課 矢野 TEL 092-711-4790(内 2020)